

提出 順番	No. //	平成30年 6月 4日 午前・午後 / 2時 / 8分
----------	-----------	--------------------------------

平成30年6月4日

幕別町議会議長 芳 滝 仁 様

幕別町議会議員 野原 恵子 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>1 性の多様性を尊重する手立てを</p>	<p>日本では性の多様性の実態は、「LGBT」という言葉を通して急速に広がってきました。L=レズビアン（女性同性愛者）、G=ゲイ（男性同性愛者）、B=バイセクシュアル（両性愛者）、T=トランスジェンダー（性同一性障害を含め自身の性別に違和感を感じている者）の頭文字です。最近の調査では、全人口の約8%、13人に1人の割合で存在していることが分かっています。</p> <p>人間の性別には、既存の性別観ではなく、生まれ持った体の性別、自分が認識する性別、恋愛対象としての性別、言葉や服装などの表現としての性別など、複数の物差しがあります。また、性別違和感を感じはじめる時期には個人差がありますが、幼い頃から感じてきたという調査（岡山大学・中塚幹也教授）があります。特に思春期になると、大人の体へと変化する二次性徴がはじまり自分の体について嫌悪感を覚えると、メンタルヘルス上のさまざまな問題につながってしまうこともあります。</p> <p>「LGBT」の人が、差別や偏見を受けることなく、自分らしい生き方ができるよう、全国で行政が対策を進めはじめています。よって幕別町としても対策を講じるよう次の点について伺います。</p>

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>2 若者・大人の「ひきこもり」支援の手立てを</p>	<p>① 「LGBT」の人への認識を高めるため職員研修を行うこと。</p> <p>② 町民が安心して相談できる窓口を設けること。</p> <p>③ 性の多様性の正しい知識が町民に根付くよう、公共施設に「LGBT」に関するポスターの掲示や、講習会を行うこと。</p> <p>④ 小中高校で教職員への研修を行い、科学に基づき子供たちに説明していくこと。</p> <p>⑤ 図書館や保健室に、「LGBT」に関する蔵書の整備を行うこと。</p> <p>「ひきこもり」は6か月以上自宅にひきこもって、社会的参加をしない状態が持続すること、精神障害が第一の原因とは考えにくい状態を「ひきこもり」と呼んでいます。かつては不登校からひきこもる人が多かったのですが、今は、30代、40代からひきこもる人が増えています。職場の人間関係などでのつまずきがきっかけになった人など、さまざまな要因が背景になって生じ、少なくとも100万人以上と推計されています。こうした状態を変えていくには第三者の手助けが不可欠といわれています。よって次の点について伺います。</p> <p>① 「ひきこもり」の実態調査を行うこと。</p> <p>② 電話相談・訪問相談・グループ相談会など、相談支援の充実を図ること。</p> <p>③ 親の学習会・家族の集いなど家族への支援を行うこと。</p> <p>④ 居場所づくり、就労・ボランティア体験など社会参加の手立てを講じること。</p>